

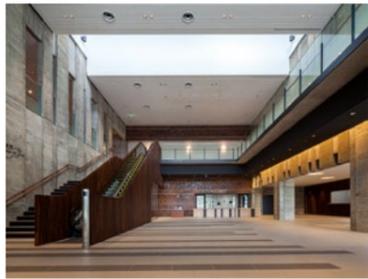
施設紹介



大ホール



小ホール



市民ロビー



練習室



会議室・展示室



メインエントランス



大ホールホワイエ



小ホールホワイエ



安来市総合文化ホール アルテピア 竣工式



建築概要

建築面積	市民会館：4,718.61㎡、エネルギー棟：263.84㎡ 計；4,982.45㎡
延床面積	市民会館：7,238.47㎡、エネルギー棟：263.84㎡ 計；7,502.31㎡
階数	地上4階建て
駐車台数	540台
駐輪場	最大収容128台
施設構成	大ホール：収容人員1,008人（1階735席、2階253席、多目的室20席） 小ホール：収容人員300人（移動席225席、可動席71席、多目的室4席） ホール附带諸室、展示室、会議室、練習室、市民ロビー、市民ラウンジ、管理系諸室

平成29年8月3日(木)
午前11時





式次第

- 一、開式の辞
- 一、市長式辞
- 一、市議会議長挨拶
- 一、事業経過報告
- 一、閉式の辞

基本理念



名前の由来

「アルテ」は芸術を表すスペイン語とイタリア語のアルテ(arte)。「ピア」は理想郷を表す(utopia)のピアを意味しています。安来市の文化・芸術の拠点となる施設であり、多くの人々に親しまれるすばらしい施設となるようにとの願いが込められています。

市民の皆様が質の高い芸術文化を楽しむことができ、様々な活動を通じて心豊かな生活を送り、大勢の方に訪れていただける文化芸術活動の『Exchange Fun Base』(楽しめる交流拠点)を目指します。

ロゴの意味

安来には日本遺産として認定された、たたら製鉄から安来節、生態系豊かな中海、世界一の日本庭園、厄払いとして有名な重要文化財清水寺など後世に伝えていくべき大切な文化、シンボルがたくさんあります。アルテピアが、それら守るべきものや、これから作る文化、芸術の発展をもたらす光として発信していけるよう、火をモチーフにしたデザインになっています。

たたら、お寺など日本的文化から市松模様で形づくり、その一つ一つの大きさを変えることで、常に変化し続ける発展の揺らめきを表現します。また、その揺らめきは中海に映る朝日と夕日を表し、豊かな環境と、永続性を表現します。

常に変化し続ける芸術。守り、発展し続ける文化。

それらを絶やすことなく、地域の人々、企業、行政が組み合わせり、一体となった「アルテピアの火」がいつまでも照らし続けます。